

「環境情報戦略」素案のイメージ図

資料3

現状

行政資料等の情報提供、インターネットを活用した情報の公表などを実施しているが、下記のような課題がある。

(1) 情報の収集、整理

- ・情報の収集、整理が組織単位等でバラバラ
- ・環境と経済社会との関係を示す情報が不十分
- ・情報の経時的な整理、蓄積がなされていない
- ・ITの利用が不十分

(2) 情報の提供に関する現状

- ・情報利用者が必要とする情報を得がたい
- ・課題単位や、政策単位でまとまった情報を得にくい
- ・提供情報に対する信頼のゆらぎ
- ・海外に対する情報発信の遅れ
- ・ITの利用が不十分

本戦略が目指す環境情報のあるべき姿

情報立脚型の合理的な環境行政
の実現

環境情報をだれでも
容易に入手できることにより
国民の持続可能なライフスタイルや
環境問題への取組、環境政策への参加
をより一層促進する社会の実現

本戦略が目指す環境情報のあるべき仕組み

情報の収集・整理・
提供・保存の
一体的実施と
PDCAの仕組み

DSRモデルに
準拠した、信頼性
の高い情報

利用者のニーズ
を意識した
情報提供

汎用性のある
ITの徹底的
活用

諸外国へ
の情報発信、
国際連携

本戦略の目的

環境行政の情報基盤としての環境省HPの充実
政策課題別、利用主体別のニーズに応じた情報内容の拡充と機能の強化

関係府省
地方公共団体、
研究機関、
関係団体
との連携

環境と経済社会活動
に関する情報の充実

自然環境の長期的
モニタリングの強化

公害克服の経験など
に関する情報の
中国、韓国及び
東南アジア地域
での活用

提供情報の信頼性
及び正確性の確保、

収集から保存までの
情報の流れの円滑化

当面優先して取り組む施策

- (1) 政策立案及び実施に必要な情報の収集、整理、提供、保存
- (2) 様々な主体に対する情報の収集、整理、提供、保存

(3) 本戦略の進行管理

「環境情報戦略」の基本的枠組

